

あるいて比也野

比也野里まちづくり委員会 広報部発行



第四回比也野里フリーマーケット(十月二十一日) 小雨のなか、おおいに賑わう

去る十月二十一日、第四回比也野里フリーマーケットを開催しました。

朝空を眺めるとどんよりとした天候、今まで一度も雨など降らなかったことがない行事だけに、メンバー同まつさおそれでも準備を進めているとぼつぼつと雨が降ってくる。テントを張っているのは、小雨なら何とか持つのではと聞き直り、受付を開始する。

お店も出店準備が終わり、お客さんを待つようになってくると、空からは一段と雨が落ちてくる。それでもお客さんはどんどん入って来られ、駐車場の整理は比延地区の消防団有志に出たいただき、雨の中、傘もささずに協力してもらい、同じ地域に住む者として感謝。

出店者で人気を博していたのは、日野小学校六年年のあわし柿で、子供たちの柿売りとして感謝。



の音が響いていました。また、のぎく療育園の父母の方も出店され、楽しそうに販売されていました。

さまざまなお問い合わせやトラブルの連続でしたが何とか終了時間を無事迎え、今度は出店者の退出の準備。それを行ないながら、市内に立っているのぼりとポスターの撤収。メンバーは休むまもなくそれぞれの役目を果たし、テントの撤収を残し、一応の区切りがついたのが午後4時。やっと一息つき、反省会を行いました。

反省会の初めには私たちのメンバーである武部陽一郎さんが亡くなられたことを偲び黙祷を捧げました。



雨の影響で、昨年より人出は少なかつたものの、それでも5千人を越す人に来ていただきました。この行事が続けていけるのも、メンバーの積極的な努力はもとより、消防団有志の

方々の献身的な協力、区長会の協力そして比延地区の人びとのささえのおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。



比也野里日程

- 十一月二日 園外保育(比幼)
- 十一月四日 文化祭(東中)
- 十一月十一日 サッカー大会(子供会)
- 十一月十五日・二十日 比幼と双幼交流会
- 十一月十八日 西脇市防災総合訓練(泉民広場)
- 十一月二十四日 保育参観(比保)
- 十一月二十八日 創立記念日(東中)
- 十二月二日 だいこん祭り(塚口町)
- おもどり(住吉町)
- 十一月七日 双葉小学校なわとび大会
- 十一月九日 ヘソマラソン
- 十一月十五日 比延小学校マラソン大会
- 十二月二十一日 終業式(東中・比双小・比双幼)

スポットライト ボーイスカウト 西脇第五団

団委員長 金田 等



こんにちは、子供の頃よく山へ、川へと遊びに行っていたものです。今の子供は家でテレビゲーム。時代と共に生活習慣も変わり景気も低迷、テロの影響もあり大変な時期ではありますが、まちづくり委員会の皆さんも生まれ育った故郷をより住みよい町にと活動

されております。さて、私たちボーイスカウトも野外活動を通して仲間と力を合わせ競い合い、そして心身を鍛えているいろいろなことにチャレンジしています。いよいよ来年から学校が週五日になります。増えた休みをどのように過ごすのかで子供の成長に大きく影響するものと思われれます。幼稚園から入隊できます。体験入隊もできますので、ぜひ参加してください。

(問い合わせ先)
金田 等 二二一 八二二一



お店を訪ねて 日進電機

大谷孝弘さん

「日進電機は昭和三四年におじいさんが山崎自動車屋さんの横で開業し、その後現在の場所に移りました。祖父から父(茂樹)、そして私へと現在三代続いています。父の仕事は工事が中心で、私は修理・販売・配達などで工事は勉強中です。」

仕事を通じて良かったことは、と聞くと、「修理がうまくいき直った時喜んでもらうのが一番やりがいがある。でも製品について憶えることが幅広く、いろんな知識を得ていくのに苦労をしています。」と悩みもあります。

抱負を聞くと、「お客さんに信頼されること、どんなこと



スリランカ青春奮闘記

Vol.4
報告者 順子
編者 佃

八月三日、スリランカ式の結婚式に初めて招待されました。行ったのは、四月のシンハラ正月に一週間ホームステイしたワラスムツラという村の家の娘と、近くに住むホテル勤務の青年との結婚式です。二人はお見合い結婚です。



田舎では親の薦める見合い結婚が多いらしく、ホロスコープを照らし合わせて見合いをします。会って、気に入らなかつたら断ることもできます。こちらの結婚式は二日間行われます。家でしたり、ホテルを使ったりと家庭（の経済状況など）によって違つようです。私が出席したのは家での結婚式で、二日目のパーティだけです。

真（お互いジュースを飲ませあいたりして、しばらくみんなに見てもらいます。それから、用意されたごちそうを食べます。まず新郎新婦がご飯を取ってから、他の人が取っていきます（写真）。

一日目は花嫁の家で行われ、たくさんセレモニーが時間をかけて行われるようです。花嫁は白いサリーを着ます。二日目、花嫁は赤いサリーを着て花婿の家に行きます。新郎新婦は一日目に泊まっていたホテルから車でやって来ました。花婿の家に入る前に花婿のお母さんが花嫁に水を飲ませます。それから玄関先で少女達に合唱で迎えられて家に入ります。入ったらランプに火を灯します（こちらでは、何かセレモニーをする時はいつもランプに火を灯すことから始まります）。それから、電飾で飾られた新郎新婦席に座り（写



歴史探訪 日本の国の皇子さま

住吉町 住吉水車村 絹川73才

今、天皇家に皇子さまの誕生が、一日一日と近づき誠に喜ばしい限りであります。思えば今の天皇が御誕生の年、国をあげてお祝い申し上げたのですが、翌年（昭和十年）二月私達は小学一年生で学芸会に「可愛い可愛い皇子さまあなたのお手手その中に、どんなお夢があるでしょう」と木の剣をもつて舞いました。つるぎは祖父が朝早く私を連れて山に行き（嫁たたき）と呼ぶ、今で言うタラの芽の木で程よくそりのあるものを切つて作つてくれました。刃のツカのところは針だけ削り取ると丁度よい皮つきの格

好になっていました。また村の青年団は三月に、共有山の牛休みという場所に松の植林をしました。

この時のエピソードに、苗木の買い付けに宮の奥のオーロク峠を歩いて越し、谷川の近くまで行きましたが、帰りは苗木があつて重いためハイヤーに乗り南回り村の入り口まで帰ってきたものの、当時の世情から村の中をハイヤーに乗ることをはばかり、再び歩いて帰るといった気のつかいようであつたようです。青年一人一人が、村の将来は自分等の将来でもあることを自覚した行動であり、今の二

百二十ヘクタールの大造林につながつていったものと称賛するのであります。不幸にして戦争のため育林に手がまわらず、後年伐採して再植しましたがこの時、記念樹として一本だけ残していたのを先日確認に行きました。すると目通り周囲一m二十八cm 樹高約二十mとなつて後続樹林の中にそびえ、限りなく崇高な気分を味わい、何枚かの写真に収めて帰りましたが、その余韻が今も心にあります。

赤ちゃん誕生

宮崎侑奈（ゆな）ちゃん
二〇〇一年八月九日
午後三時四五分に誕生

上比延町 宮崎富富さん

泉さんの次女

お父さんは「やつぱり、元気で明るい子になつてほしい」と成長を楽しみにされていました。



編集後記

小雨の中でのフリーマーケットはテントを張つていたおかげで無事済むことが出来ました。しかし雨に濡れたテントや幟はすぐに片付ける事が出来ないのです。天候が回復した後で乾かせたりして仕舞うのに再度委員の方にお世話になりました。本当にご苦労さまでした。

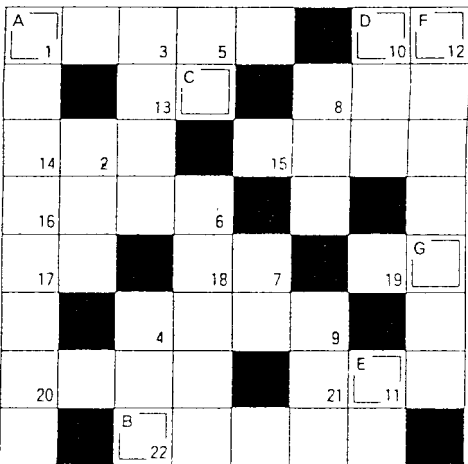
ちよつと一考

〈タテのパズル〉

- 1 ミルクも砂糖も入れないコーヒ
- 2 勝利
- 3 はつきりと筋道が通つていること
- 4 ハワイ語のあいさつ
- 5 ヒットエンド〇〇
- 6 日本工業企業のマーク
- 7 悪い結果になりはしないかと心配し、おそれること
- 8 砂とともに河床などに沈積した金
- 9 月の照つている夜
- 10 雑音
- 11 軟
- 12 単身者の寄宿舎

〈ヨコのパズル〉

- 1 く字型で、投げると戻つてくる狩猟具
- 4 ゴムの長靴など雨の日のほきもの
- 8 細かな点についてのくふう
- 10 〇〇から手が出る
- 13 アウト
- 14 止まらずに、ある場所を通り過ぎること
- 15 ほしより、卵焼などで巻いた寿司
- 16 むさぼり食おうとする
- 17 やしい心
- 18 青と紫の中間色
- 19 嫌い
- 20 〇〇とキリギリス
- 21 英雄
- 22 航海の途中に船が港に寄ること



■AからGまでの文字をならびかえると、ある食べ物か...

解答の言葉と住所・氏名を書いて葉書で応募下さい。切は、11月30日。抽選で5名様に、素敵な記念品をプレゼント。送り先 西脇市野村町 西脇郵便局私書箱40号 前号クイズ正解「クリームシチュー」当選者

- 上比延町 藤原 美寿子さん
- 堀町 末廣 忠克さん
- 上比延町 行田 衣里さん
- 上比延町 山上 健太さん
- 比延町 田中 ひとみさん

詰所に御参集下さい。

二一八一〇〇